

## 留学報告書



留学先国	アメリカ
留学先高等教育機関名	フロリダ州立大学・ディズニーワールド提携インターンシップ
留学期間	2019年8月～2020年1月
留学を開始した時の学年	2年生

### 留学費用（概算）

授業料（プログラム費用）	約 120 万円
保険料	約 10 万円
宿舍費（1 か月あたり）	約 6 万円
食費（1 か月あたり）	約 2 万円
渡航旅費	約 30 万円

### 滞在形態関連

1) 種類
寮
2) 部屋の形態
相部屋（1人）
3) 設備
シャワー、トイレ、エアコン、キッチン、ランドリー、インターネット、宅配ボックス。
4) 住居を探した方法
留学先大学の指定

### 現地情報

1) 大学内の医務室／診療所や付属の病院などで医療サービスを受けることは可能でしたか？

はい。

2) 現地で病院にかかったことはありますか？

いいえ。

3) 保険について、現地の医療保険に加入しましたか？

いいえ。

4) 留学にあたり、必須の予防接種はありましたか？

はい。おたふく風邪，風疹，麻疹，はしか

5) 学内外で問題が発生したときは、誰に相談しましたか？

留学先の友人

6) 現地の治安はどうでしたか？また、現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか？また、実際に窃盗等を含む犯罪に巻き込まれた場合、どのように対処しましたか？

とても安全であった。現地の友人による情報を参考にした。特に巻き込まれていない。

7) パソコン，携帯電話，インターネット接続について、現地での利用はいかがでしたか？

寮はあまり Wi-Fi の接続が良い場所ではなかった。SIM カードは現地で購入した。

8) 現地での資金調達はどのように行いましたか？

ディズニーからの給与に加え、旅行に行く際は親に援助してもらっていた。

9) 利便性，買い物はどうでしたか？また現地では調達できない日本から持っていくべき物がありますか？

ディズニーから提供されるバスがあるので利便性，買い物に困ったことはない。日本食（味噌汁やふりかけなど）は持っていくべき。

10) 授業料（またはプログラム費用）は、どのように支払いましたか？

海外送金

11) その他，生活等に関して参考となることがあれば教えてください。

日本から薬(特に風邪薬)はなるべく多く持っていくべき。

### 渡航について

1) 現地空港から滞在先まで、どのようにして向かいましたか？

留学先大学のピックアップサービス

2) 到着後にオリエンテーションはありましたか？あった場合、どれくらいの期間行われていましたか？

はい。2日間ほど。

**学習・研究活動についてのレポート（履修した科目ごとに記入してください）**

**履修した授業科目名**

Intercultural Communication

**授業内容や試験、授業を受けた感想について**

異文化の理解，カルチャーショックについて。

**履修した授業科目名**

Applied Intercultural Communication

**授業内容や試験、授業を受けた感想について**

異文化の理解，カルチャーショックについて。

**履修した授業科目名**

Intercultural Communication Practicum

**授業内容や試験、授業を受けた感想について**

ディズニーのユニークなところ，インターンとしての分析。

**履修した授業科目名**

Corporate Social Responsibility

**授業内容や試験、授業を受けた感想について**

ディズニーの社会貢献，地域貢献の分析。

## 留学体験記

<p>留学しようと決めた理由や、この留学先を選んだ理由</p>	<p>もともと英語が大好きで、3歳から17年近く学んでいたのですが、今まで留学や生の英語に触れる機会がなく、大学生のうちに行っておきたかったからです。またディズニーがもともと、もの凄く大好きなわけではなかったですが、費用面でも魅力を感じたため応募しました。あとは先輩方からの評判を聞いていて、楽しそうだなと思い応募しました。そして普通の大学で留学するよりも、今しかできない経験であり、貴重な経験になるだろうと思い、ディズニー・インターンシッププログラムに応募を決めました。</p>
<p>留学のためにした準備、しておけば良かったと思う準備</p>	<p>留学の準備自体は国際日本学部に入學した当初から始めました。どうしても行きたかったのと英語は人に負けたくなかったので、TOEFL や TOEIC の勉強にも力を入れました。具体的には、TOEFL の授業を履修したり、授業で扱っているテキストを自分でも演習したりしていました。語彙を増やすことが TOEFL や TOEIC、そして会話の中でも役に立つだろうと思い、なるべく多くの単語帳を覚えるようにも心がけました。また必修授業でもなるべく多くネイティブの教授と話すように心がけました。しておけば良かったと思うことは、持ち物の準備をもう少し早めに始めておけば焦ることがなくて良かったなと思います。</p>
<p>留学中に役立った書籍、ウェブサイト、アプリ等</p>	<p>留学前は大学の授業やテキストを疎かにしないように、一つ一つ丁寧に取り組むように心がけていました。大学の授業で用いていたテキストが個人的にはものすごく役に立ったと思っています。あとは英検準1級、1級レベルの単語帳などもやっておいて良かったと思います。アプリは TED Talk などのアプリを使って、まずは耳を慣らすことに心がけていました。留学中は RedKiwi というビデオによる英語学習ができるアプリを使っていましたし、留学系、英語系ユーチューバーの人のチャンネルなども時々見て勉強していました。</p>
<p>大学・学生の雰囲気（職場や同僚の雰囲気）</p>	<p>職場と同僚には本当に恵まれていました。老若男女いる職場で、同じ年くらいの子や大学生の子も多くて楽しかったですし、孫や息子のように接してくれる年配の同僚とも仲良くできて、毎日が非常に楽しかったです。あたたかく見守ってくれるような雰囲気でした。特に1個目の職場なのですが、毎日仕事に行くのが楽しみで仕方がないくらい充実していました。私の所属していたアトラクションは人気でしたが、大混雑するほどではなかったため、</p>

	<p>同僚たちとのコミュニケーションもたくさん図れて、楽しかったし、英語の練習にもなりました。また困ったらすぐにみんなが手を差し伸べてくれてたので、働きやすい環境でした。</p>
滞在先の雰囲気	<p>ディズニーが提供してくれる寮に住んでいたのですが、セキュリティやサポート体制も抜群で快適でした。また敷地内にジムがあったり、宅配便などの荷物もサービスセンターで受け取れたりと便利でした。サービスセンターのキャストたちは困った時に相談できたり、ディズニーに関することについて教えてくれたりするので助かっていました。部屋はアメリカの部屋といった感じで、広い共用のリビングとキッチンがあって楽しかったです。ルームメイトは自分を含め計8人で1人は明治の友達でした。</p>
留学先における交友関係	<p>向こうにいる間は滅多に日本人とは遊ばないように心がけていました。せっかく留学に行ったので、休みの日には、自分から積極的に、現地の友達を誘い、英語力の向上にも努めました。主に同僚と遊ぶことが多かったです。職場の同僚たちは年代も近く、フレンドリーでいつでも気軽に遊べて、相談にも乗ってくれるような親友みたいな存在でした。みんな優しく、常にいっしょに居た気がします。また同僚の友達やルームメイトの友達を紹介されて、そこからまた新しい友達ができたりと、非常に多彩な交友関係を持つことができていました。</p>
留学中に困ったこと、つらかったこと、大変だったこと	<p>辛かったことは、「食事」です。アメリカは本当に食のバリエーションが乏しく、同じようなものばかりなので、毎日日本食が食べたいなと思っていました。また大変だったことは自分を含めた8人のルームメイトと共同生活することです。それぞれが自分の文化を持っているし、清潔の度合いなどもバラバラなので、そこにストレスを感じる時もありました。また掃除機の分担やごみ捨ての当番を守らないルームメイトに何回も注意するのがストレスな時もありました。そして日本式のバスやトイレももちろんないのでそこはすごく慣れるまで時間がかかりました。特に半年間一度も浴槽に浸かることがなかったので、そこは少し辛かったかなと思います。</p>
留学先における学習、課題や試験	<p>ディズニー・インターンだったので、学習の時間はそこまで多くなかったですが、その分2週間~1ヶ月ごとにフロリダ州立大学から与えられる毎回のレポートには一生懸命取り組んでいました。レポートがメインで、毎回1時間くらいの時間を費やして取</p>

	<p>り組んでいました。また自主学習では、英会話のアプリを使ったり、YouTubeで英語の学習法を発信している人気YouTuberの動画を参考にしたりしていました。そして一番大切にしていたことは、会話の実践なので、なるべくたくさんルームメイトや外国人の友達と話すように心がけていました。</p>
<p>大学外の活動（課外活動や自由時間など）</p>	<p>休みの日にはせっかくディズニーに無料で入れたので、常にいろんな外国の友達と遊びに出かけていました。もちろんディズニーに行くだけでも楽しいのですが、常に外国の友達と遊ぶようにしていたので、遊ぶ中で自分の英語を褒められるようになり、自分でも進歩を感じられるようになり、ますます遊びに行くのが楽しかったです。あとユニバーサル年パスも購入したので、外国人の友達やたまに日本人の友達とも遊びに行っていました。</p>
<p>留学を志す人へメッセージやアドバイス</p>	<p>ディズニー・インターンシッププログラムに心から参加して良かったと胸を張って言えます。このプログラムに参加したおかげで、自分のモチベーションやスキルも上がったし、また何より人間的にも成長できた気がします。たくさんの外国人に囲まれて、自分の性格もより、明るく、社交的に変化しました。英語のスキルをあげたのも収穫ですが、自分に自信を付けられたという点にとっても満足しています。ただこのプログラムは良くも悪くも自分次第なところが往々にしてあるので、たとえ面接にパスできたとしても、たくさん勉強を継続してからプログラムに臨むべきだし、アメリカに渡ってからも、英語の勉強を怠っては行けないと思います。自由度が大きい分、その後の満足度も自分に委ねられるので、自分でよく考えてどんどん「行動」できるといいかなと思います。</p>